



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 情報企画

コード番号 3712 URL <http://www.iyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松岡 仁史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 橋本 政幸

TEL 06-6265-8530

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,317	9.0	317	25.2	318	25.1	188	19.9
25年9月期第3四半期	1,208	0.5	253	37.6	254	35.7	157	65.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	46.58	—
25年9月期第3四半期	38.86	—

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	3,305		2,548			77.1
25年9月期	3,164		2,440			77.1

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 2,548百万円 25年9月期 2,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
26年9月期	—	10.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年9月期につきましては当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	3.7	400	16.2	400	15.8	240	13.4	59.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期3Q	4,090,000 株	25年9月期	4,090,000 株
② 期末自己株式数	40,074 株	25年9月期	40,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4,049,947 株	25年9月期3Q	4,050,000 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日の9ヶ月間）におけるわが国経済については、消費税率引き上げによる個人消費や生産の落ち込みはあったものの、設備投資意欲は旺盛で景気は底堅く回復基調は変わらないと見られます。

当社の主要な販売先である金融機関におきましては、全国の銀行貸出残高が34ヶ月連続して前年同月比増加しており、資金需要は伸びています。また金利低下傾向から本業の資金運用収益は微増ながら貸倒引当金の戻入益の増加から経常利益は5年連続して増益となっています。このような状況下で設備投資に対する意欲も改善していると考えております。

当第3四半期累計期間の売上高につきましては、「システム事業」は、システム開発に係わる「システムインテグレーション部門」、システムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」共に前年同期比増収となりました。営業利益につきましては、「システムインテグレーション部門」の増収に加え、「システムサポート部門」におけるデータ作成の効率化に伴う材料費の軽減や臨時従業員等の人件費削減により、前年同期比増益となりました。

平成25年3月から開始した「不動産賃貸事業」につきましては、賃貸収入を売上高に計上しており、営業利益にも貢献しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、1,317,669千円（前年同期比9.0%増）、営業利益は317,662千円（同25.2%増）、経常利益は318,618千円（同25.1%増）、四半期純利益は188,650千円（同19.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

「決算書リーディングシステム」や「契約書作成支援システム」は顧客ニーズを捉えて、数多くの受注を獲得し増収に大きく貢献しました。「自己査定支援システム」や「貸倒実績率算定システム」、「債権償却・引当金管理システム」も大型案件により売上高を伸ばしております。金融機関向けの「決算業務支援システム」も全国の信用組合にシステムサービスを提供している信組情報サービス株式会社に大型案件を売上げたほか、信用金庫にも売上げ、増収に貢献しました。「担保不動産評価管理システム」については、大型案件を受注しており今後の売上高増に大きく貢献すると考えております。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は、549,475千円（前年同期比8.0%増）、セグメント内の売上高構成比は44.2%となりました。

「システムサポート部門」

代行入力の売上高は代行自体の作業が減少していることから前年同期を下回ったものの、メンテナンスの売上高は前年同期比増収となり、全体としてシステムサポート部門の売上高は694,177千円（前年同期比0.7%増）の増収となりました。セグメント内の売上高構成比は55.8%となりました。

以上により、システム事業の売上高は1,243,653千円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は309,135千円（同23.2%増）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸収入74,015千円（前年同期比63,550千円増）となり売上高に計上しております。セグメント利益は8,526千円（前年同期比5,858千円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ216,719千円増加し、2,012,508千円となりました。これは主に現金及び預金の増加と、売掛金の減少によるものです。固定資産は前事業年度末に比べ75,490千円減少し、1,293,261千円となりました。これは主に繰延税金資産の減少及び減価償却費の計上によるものです。この結果、資産合計は前事業年度末に比べ141,229千円増加し、3,305,769千円となりました。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ33,636千円増加し、757,205千円となりました。これは主に未払金の増加と賞与引当金の減少によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ107,592千円増加し、2,548,564千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、消費税率引き上げの影響は残るものの、生産や設備投資など実体経済は堅調に推移すると考えられます。

このような状況の中、当社といたしましては、主要顧客である金融機関の投資意欲を喚起して、的確にニーズを捉えて新規案件を掘り起こし、受注に結び付けるきめ細かい営業を行っていく考えです。

また、不動産賃貸事業は安定的に収益に貢献していくものと考えています。

平成26年9月期におきましては、売上高1,700,000千円（前年同期比3.7%増）、営業利益400,000千円（同16.2%増）、経常利益400,000千円（同15.8%増）、当期純利益240,000千円（同13.4%増）と予想しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,373,642	1,774,299
売掛金	313,586	195,702
仕掛品	48,207	18,102
繰延税金資産	28,836	9,974
未収収益	4,311	4,209
未収消費税等	17,566	—
その他	9,637	10,220
流動資産合計	1,795,788	2,012,508
固定資産		
有形固定資産		
建物	722,180	723,703
減価償却累計額	△44,885	△67,636
建物(純額)	677,294	656,067
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△191	△739
構築物(純額)	4,014	3,466
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△6,248	△23,432
機械及び装置(純額)	68,806	51,622
工具、器具及び備品	57,884	57,899
減価償却累計額	△51,615	△53,234
工具、器具及び備品(純額)	6,269	4,665
土地	463,744	463,744
有形固定資産合計	1,220,129	1,179,566
無形固定資産		
ソフトウェア	15,531	11,270
その他	1,116	1,116
無形固定資産合計	16,647	12,387
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	52,960	23,945
会員権	20,914	20,650
差入保証金	48,100	46,712
投資その他の資産合計	131,974	101,308
固定資産合計	1,368,751	1,293,261
資産合計	3,164,540	3,305,769

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,007	9,468
未払金	76,803	134,922
未払消費税等	—	39,357
未払法人税等	56,364	36,420
前受収益	292,903	284,595
賞与引当金	51,330	18,162
製品保証引当金	1,604	422
受注損失引当金	—	173
その他	8,290	14,337
流動負債合計	515,304	537,859
固定負債		
役員退職慰勞引当金	201,107	212,870
長期前受収益	1,487	—
その他	5,669	6,475
固定負債合計	208,263	219,345
負債合計	723,568	757,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,802,847	1,910,498
利益剰余金合計	1,804,663	1,912,314
自己株式	△55,491	△55,550
株主資本合計	2,440,972	2,548,564
純資産合計	2,440,972	2,548,564
負債純資産合計	3,164,540	3,305,769

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,208,511	1,317,669
売上原価	562,591	609,883
売上総利益	645,920	707,785
販売費及び一般管理費	392,237	390,123
営業利益	253,682	317,662
営業外収益		
受取利息	643	420
還付加算金	—	276
未払配当金除斥益	302	260
その他	9	—
営業外収益合計	955	956
営業外費用		
その他	1	—
営業外費用合計	1	—
経常利益	254,635	318,618
特別利益		
固定資産売却益	3,352	—
特別利益合計	3,352	—
特別損失		
固定資産除売却損	9	1
ゴルフ会員権評価損	—	264
特別損失合計	9	265
税引前四半期純利益	257,978	318,353
法人税、住民税及び事業税	53,349	81,825
法人税等調整額	47,263	47,877
法人税等合計	100,613	129,702
四半期純利益	157,365	188,650

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,198,046	10,464	1,208,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,198,046	10,464	1,208,511
セグメント利益	251,013	2,668	253,682

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,243,653	74,015	1,317,669
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,243,653	74,015	1,317,669
セグメント利益	309,135	8,526	317,662

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。